

HP Latexインクと溶剤インクの違い

HP LatexインクとUVインクの違い



業務効率UP! ビジネス領域の拡大! すべてHP Latexが実現



HP Latex プリンターの特長

HP Latex サステナブルエッジ

HP Latexインクと溶剤インクの違い

HP LatexインクとUVインクの違い

優れたユーザビリティで効率アップ

表現の幅を広げるホワイトインク

HP Latexのさまざまな用途

リモート管理ツール「HP PrintOS」



HP Latex サステナブルエッジ

作業環境・納品先クライアントの環境にも配慮。水性のHP Latexインク

- HP Latexインクは世界の環境認証機関の規格に準拠しているから安全です。UL GREENGUARD GOLDではVOC放散量によって室内に施工できる面積に制限を設けています。HP Latexインクは最高レベルの「Wallpaperクラス」で制限はありません。多くのソルベントインクやUVインクは「Decorative Wall」や「Signage」クラスに該当します。
- HP Latexはプリンター本体に再生プラスチックを採用し、インクカートリッジはプラスチックを80%削減したHPエコカートンインクカートリッジを採用*1。HPはさまざまな角度から環境へ配慮した取り組みを実現しています。



厳しい健康・環境基準を満たすインク



室内使用に制限なし



レベル1-有害化学物質 (ZDHC)の排出ゼロ*2



玩具安全基準に準拠したインク*3



外箱には100%リサイクル可能なボール紙を使用。廃棄も手間をかけずに安全に行える*4
※写真はHP Latex 700シリーズインクカートリッジ

HP Latexインクと溶剤インクの違い

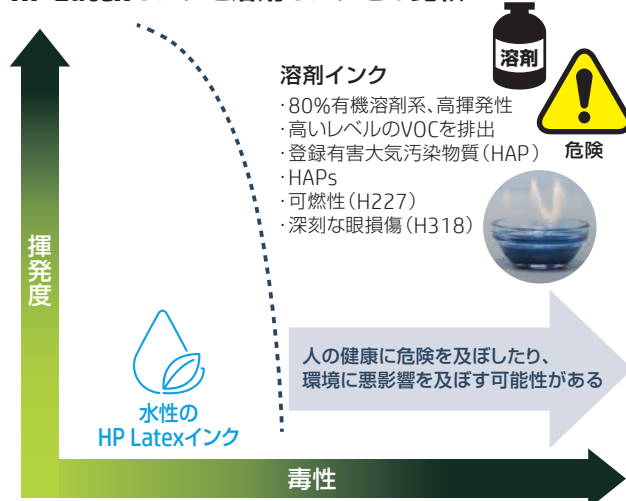
スピード納品、強い耐擦過性能*5、高い安全性を維持するHP Latexインク

- HP Latexは印刷と同時にインクを乾燥。印刷後にすぐにラミネート加工の工程へ進めるため作業時間・納期の短縮を実現します。
- HP Latexはインクに抗スクラッチ剤を配合しているため印刷面が強く、短期用途のグラフィックではラミネート加工を削減できるものもあります。加工時や施工時のひっかき等によるリスクも軽減でき安心です。
- 水性のHP Latexインクは、溶剤（エコソルベント）をベースにしたインク製品に伴う臭気や可燃性等の危険を回避するように設計されています。

印刷～加工時間の比較



HP Latexインクと溶剤インクとの比較

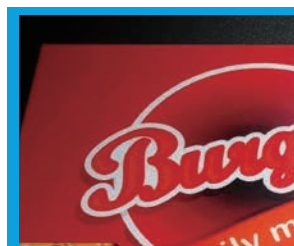
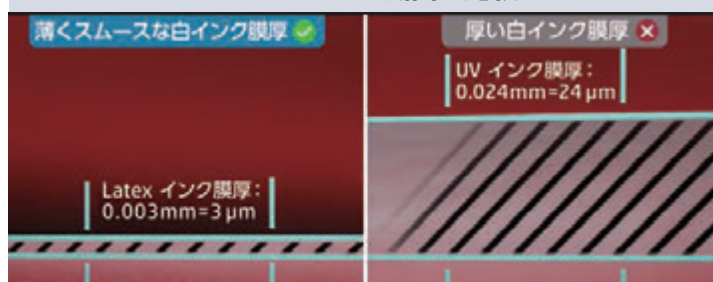


HP LatexインクとUVインクの違い

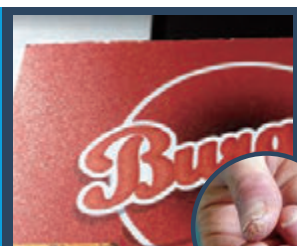
不快臭や有害物質を含まないHP Latexインク

- HP Latexインクは反応性モノマー化学物質への暴露を避け、不快臭もないため安全にお使いいただけます。
- 水性インクジェットながらオフセット印刷に匹敵する高精細、高品質を実現します。
- ラミネート加工時のシルバリング、チッピングもしづらいため安心です。

ホワイトインク断面の比較



HP Latexインク
水性インクながらオフセット印刷
同等の仕上がりを保持し無臭で安全



UVインク
特徴的な不快臭がし、
取り扱いへの配慮が必要



あらゆる素材との相性もよく
高品質に仕上げる
HP Latexインク



不快臭

優れたユーザビリティで効率アップ

HP Latex プリンターは操作性もプリントヘッドの交換もかんたん

- フロントに設置された大型タッチパネルからスマホを扱うように直感的に操作できます。「ジョブキュー」ツールには最大100の出力ジョブを保存可能。追加印刷をプリンターから直接行えます。
- プリントヘッドはお客様自身で交換可能。ダウンタイムを最小限に抑え高い生産性を維持します。



大型のフロントパネルは見やすくシンプルなインターフェイスに進化。印刷やサプライ品の交換も操作パネルから簡単に行える



プリントヘッドはケーブル、チューブもなく交換時に工具も不要。自動軸合わせを含めてすべての交換作業は20分ほどで完了できる

メンテナンスにかかる時間

HP Latex プリンター	VS	UV プリンター
0分	1日	15~20分
	1カ月	6時間
	1年	70時間

表現の幅を広げるホワイトインク*6

HP Latex ホワイトインクは耐黄色性に優れ幅広いアプリケーションへ対応

- ウィンドウグラフィックスへの透明素材、色付きの特殊素材など、さまざまな素材へのホワイトインク印刷に対応し表現の幅が広がります。
- 美しい光沢感と不透明度の高い最も白いホワイトを表現します*6。
- 時間経過で黄変しないため幅広いアプリケーションに対応可能です。
- 自動再循環システムとプリントヘッドクリーニングにより煩雑なメンテナンスは不要です。



HP Latexのさまざまな用途

幅広い素材対応力で多彩なアプリケーション作成が可能

- 2,500種超もの素材対応力で、用途に適した素材をお選びいただけます。（2022年7月現在）
- 屋内・屋外問わず多彩なアプリケーションに対応しビジネス拡大に貢献します。
- 用途に合わせて最適なインクと素材の組み合わせをプリンターやPC、モバイルから検索できる「PrintOS メディアロケーター」もご用意しています。
www.printos.com/ml/#/medialocator

屋外から屋内まで高いアプリケーション汎用力



リモート管理ツール「HP PrintOS」

HP PrintOSを活用すればいつ、どこからでも印刷オペレーションを把握・管理できます。



HP PrintOSの詳細

運用の優位性を向上する HP PrintOS Print Beat

PCやモバイルデバイスにインストールすると無人印刷の実現や、どこからでもリアルタイムに印刷状況の監視ができます。外出時に印刷工程で問題が発生してもモバイルに通知することができ迅速な復旧計画が立てられます。



リモートでのプリンター設定を 可能にする HP PrintOS 構成センター

HP PrintOS構成センターではいつ、どこからでも大判プリンターをリモートで設定できます。フリートの操作に関する推奨事項（プリントヘッドの軸合わせ、カラーキャリブレーション、ファームウェアのアップデートなど）をリモートでリアルタイムに取得可能。また自動バックアップ機能により、作成したメディアプロファイルの保管・管理も安心です。



リモートでのプリント管理を 実現する HP PrintOS モバイルアプリケーション*7

HP PrintOSモバイルアプリケーション*7を使用することでいつでもどこからでも、印刷オペレーションの管理が可能。外出時もプリンターの状況やインクとメディアの消費量の監視や完了済みジョブの閲覧、印刷時に発生した問題の特定、対処もスピーディに行うことができます。



HP Latex プリンターはローエンド～ハイエンドまで同じインクで取りそろえる唯一のブランドです。

HP Latexの性能をその目でお確かめください。
スペシャリストがHP Latex / Stitchの性能や品質についてご紹介します。

HP 東京グラフィックス エクスペリエンス センター

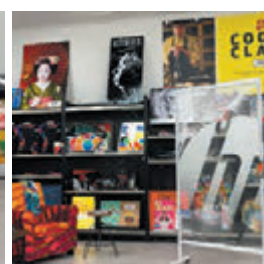
〒143-0006 東京都大田区平和島6丁目 1-1 東京流通センター センタービル6階 Latex Zone

■ 営業時間 月～金 13:00～18:00

(土・日、祝日、5/1、年末年始など、日本HP指定の休業日を除く)

デモルームは完全予約制です。下記Webサイトの
お申し込みフォームよりご予約ください。

www.hp.com/jp/latex-printdemo



製品情報、出力サンプルお申し込み、
事例で紹介などはこちら！

www.hp.com/jp/latex



*1 HP Latex 700/800 シリーズ。 *2 Roadmap to Zeroのレベル1 - 有害化学物質の放出ゼロ (ZDHC) 1 - テキスタイル製品の生産が環境に与える影響を減らす取り組みの中で、ZDHCが発表する製造時制限物質リスト (ZDHC MRSL) のバージョン2.0の基準をHP Latexインクが満たしていることを意味します。ZDHC MRSLには、VOC、有害な染料、重金属、フタル酸エステルなど、製造時に意図的な使用を禁止する100種類以上の化学物質が掲載されています。ZDHCは、皮、テキスタイル、合成皮革から有害化学物質を排除し、持続可能な化学物質を使用することを促し、よりクリーンな（屋内外の）空気や水、製造に貢献することを目指す組織です。Roadmap to Zeroプログラムは、トップブランド企業と傘下の関連企業を含む複数のステークホルダーで構成された組織であり、化学物質の管理で責任を果たすために協力して取り組んでいます。詳細はroadmaptozero.comをご覧ください。 *3 第4世代HP Latexインクは、玩具の安全に関する試験法および指令に従って試験、実証されています：EN 71-3、EN 71-9、ASTM F963-17、US 16 CFR 1303、US 16 CFR 1307、SOR 2011-17およびSOR 2018-83。HPは、3歳以下の子供を対象とした玩具にインクを使用することは推奨していません。 *4 HPエコカートンインクカートリッジの外箱は、地域の段ボール/紙処理プログラムで100%リサイクル可能です。インクバッグの素材は55%リサイクル可能であり、プラスチック部品の再処理を行うHPプラネットパートナーズプログラム（ご使用済みインク・トナーカートリッジリサイクルプログラム）に無償で返却できます。埋立地には使用されません。インクバッグとプリントヘッドの回収については、<https://www8.hp.com/jp/ja/hp-information/recycling/ink-toner.html> にアクセスし、HPプラネットパートナーズプログラムの参加方法と利用可能なプログラムをご確認ください。プログラムは地域によって利用できない場合があります。このプログラムが利用できない場合、およびこのプログラムに含まれないその他の消耗品については、地域の廃棄物処理当局に適切な処分方法を問い合わせてください。 *5 塩ビ粘着フィルムや塩ビバナーに、ハードソルベント（溶剤）インクを使用してプリントした場合と同等の耐擦過性を実現します。 *6 ホワイトインクはHP Latex 700 W/800 Wプリンター、HP Latex Rシリーズで使用できます。最も白いホワイトとは、2020年5月の時点で50,000米ドル未満の溶剤およびUV技術を使用した競合製品と比較し、ISO / DIS23498に基づき算出しています。テストは、黒の不透明塩ビ粘着フィルム（L*:4.16 - a*:0.48-b*:2.34）に対して、160% UFプリントモードでHP 832 1L Latex インクカートリッジ ホワイト（HP Latex 700 Wプリンター）およびHP 873 3L Latex インクカートリッジホワイト（HP Latex 800 Wプリンター）を使用して実施されました。視覚的不透明度=91%。 *7 最新の対応モバイルOSのバージョンはGoogle PlayストアおよびApp Storeでご確認ください。プリンターそしてスマートフォンはインターネットに接続された状態でご利用ください。

HP Latex 製品に関する詳細はHP Latexパートナー様または
下記弊社カスタマー・インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

03-4578-4601 受付時間 月～金 9:00～18:00 (土・日、祝日、5/1、年末年始など、日本HP指定の休業日を除く)

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。 記載事項は2023年10月現在のものです。

本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。

© Copyright 2023 HP Development Company, L.P.

株式会社 日本HP

2023年10月 Ver.1.0

